

1～3部屋用中間ダクトファン

エアロード TSK-3R

工事説明書 (取扱説明書別添付)

別冊の取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。
取付工事を始める前に必ず、この工事説明書をお読みください。
取付工事は、販売店または工事店さまが実施してください。

安全上のご注意

必ずお守り下さい

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り頂くことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。



警告

この表示欄は、【死亡または重傷などを負う可能性が想定される】内容です。



注意

この表示欄は、【傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される】内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。(下記は絵表示の一例です)



この絵表示は、してはいけない【禁止】の内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく【強制】の内容です。



警告



分解禁止

■仕様変更・改造は絶対にしない。
火災・感電・けがの原因になります。



アース線接続

■アースを確実に取り付ける。
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。



■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造建築物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける。
漏電した場合、火災の原因となります。(電気設備技術基準第182条)



禁止

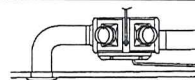
■内釜式風呂を設置した浴室に取り付けけない。
排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。



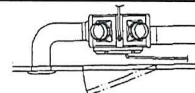
注意



■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付ける。
落下により、けがをする恐れがあります。



■部品は確実に取り付ける。
落下により、けがをする恐れがあります。



禁止

■交流100ボルト以外で使用しない。
火災・感電の原因になります。



■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実に行う。
誤った配線工事は、漏電・感電や火災の恐れがあります。



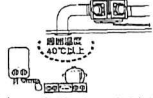
禁止

■浴室内に壁スイッチを設けない。
湿気により、感電することがあります。

お願い

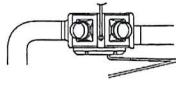
■高温になる場所に取り付けしないでください。

製品の変形やモーターの寿命を早めます。



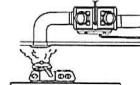
■ドレンパイプを折らないでください。

結露水が流れません。



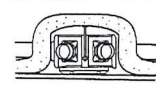
■油煙の多い場所に取り付けしないでください。

ルーバーなどの破損の原因になります。



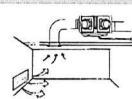
■断熱材で覆わないでください。

電源の接続が不完全な場合、漏電の原因になります。



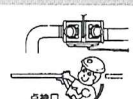
■給気口を設けてください。

効果的な換気できません。



■点検口を設けてください。

保守点検ができません。



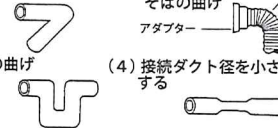
■次のような配管工事はしないでください。

(1) 極端な曲げ

(2) 吐出口すぐそばの曲げ

(3) 多数回の曲げ

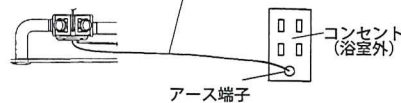
(4) 接続ダクト径を小さくする



■アース工事をする場合は次のいずれかの方法で行ってください。

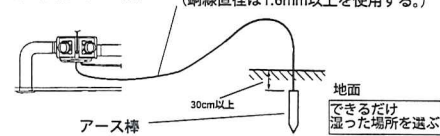
■コンセントのアース端子にアース線を接続する場合

アース線
(銅線直径は1.6mm以上を使用する。)



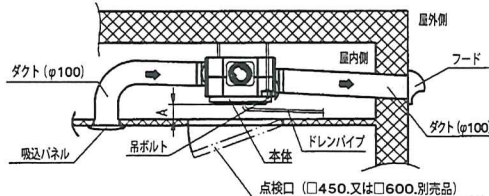
■アース棒を使用される場合

アース線
(銅線直径は1.6mm以上を使用する。)



取付参考図

■設置例



■ダクト配管、ドレン配管は必ず屋外側に勾配を設けてください。

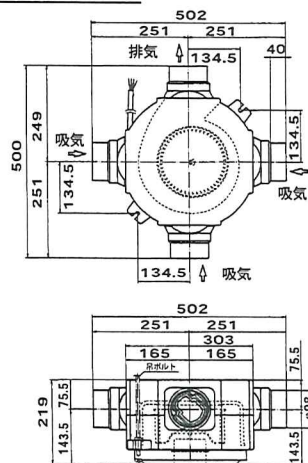
■点検口は本体の真下に設置してください。

■上記のA寸法が100mm以下の場合は□600の点検口をそれ以上の場合は、□450の点検口を設置してください。

各部の名称・外形寸法図

(単位: mm)

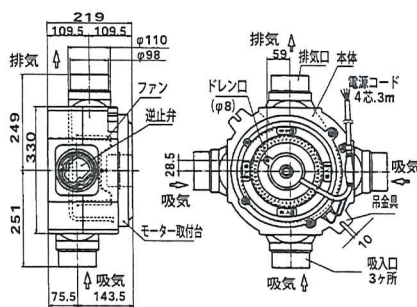
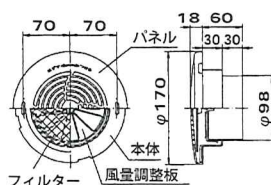
■本体ユニット



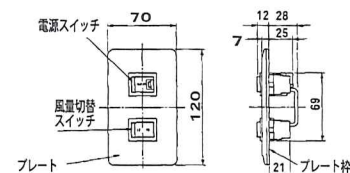
■本体ユニット

※付属品
メクラキャップ 1個
工事取扱説明書 各1部

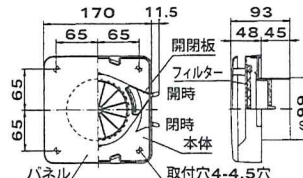
■丸型吸排気レジスター 別売品



■強弱切替スイッチ 別売品



■角型自然給気レジスター 別売品



本体ユニットの施工方法

以下の手順に従って施工して下さい。

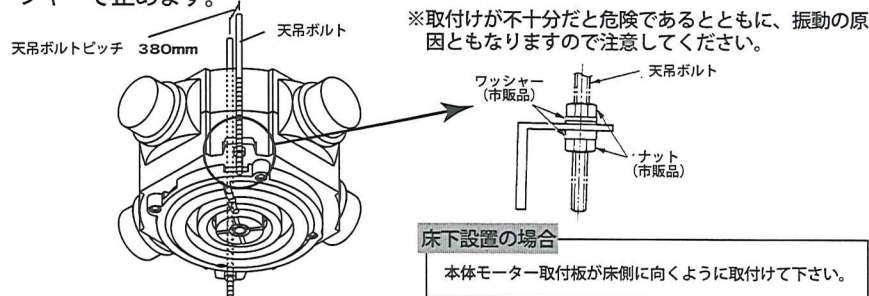
取付場所

- 本体ユニットの設置場所としては、浴室・脱衣室・洗面所・廊下・台所・階段のおどり場などに設置してください。
- 設置後のメンテナンスが容易に行えるよう、本体ユニットの真下(床下設置の場合は真上)に点検口を設けてください。
【点検口の位置】
 - ・点検口が見苦しくない所
 - ・椅子や脚立などを置きやすい所
 - ・運転音が気にならない所(寝室などはさける)
- 施工性のよい樹脂製フレキダクトの使用をおすすめします。
- 必ず給気口を設けてください。
- 吸込口は給気口から部屋全体に空気が流れるように設置してください。
(計画換気として使用の場合)
- 屋外パイプフードは強制排気用(網なし)をご使用ください。

1. 本体の取付

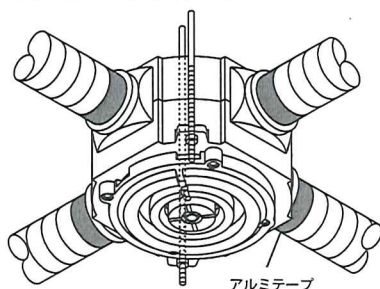
施工前に天井吊用ボルト (M8-M10)・ナット・ワッシャー・パイプフード・ダクトパイプ (φ100)・ドレンパイプ (内径φ8) を準備してください。

- 天井面に天吊ボルト (2本) をしっかりと固定した後、本体ユニットをナット・ワッシャーで止めます。



2. ダクトの取付

- ダクトパイプを適当な長さに切断して、本体ユニットに挿入してアルミテープで確実に巻いて固定する。



※吸込口の3カ所のうち使わないところは、付属のメクラキャップを挿入してアルミテープで固定してください。

※排気側1ヶ所 (ブラック) と吸込側3ヶ所 (グレー) を間違えないようにして下さい。

※風漏れや水漏れの原因になります。

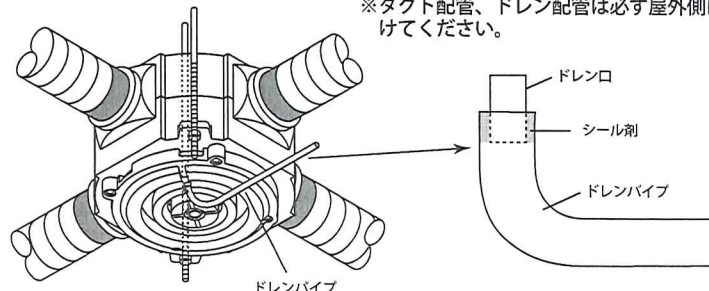
5方向チャンバーBOXを使用する場合

本体と5方向チャンバーBOXをつなぐ場合には、本体の吸込側とチャンバーBOXの排気側をダクトパイプで接続し、アルミテープで確実に巻いて固定してください。

3. ドレン処理

- ドレンパイプを本体ユニットのドレン口に挿入して、水が漏れないようにシール剤等で処理してください。

※ダクト配管、ドレン配管は必ず屋外側に勾配をもうけてください。

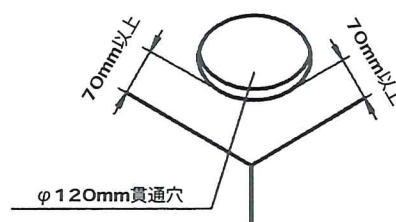


4.丸型吸排気レジスターの取付 別売品

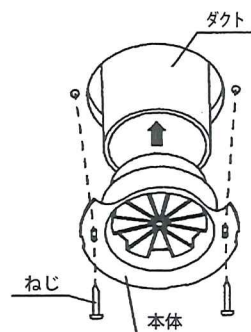
- 内壁工事が終了した段階で施工してください。
- 吸込側に丸型吸排気レジスターを取り付ける。

1.空気の流れを考えて取り付け場所を決める。

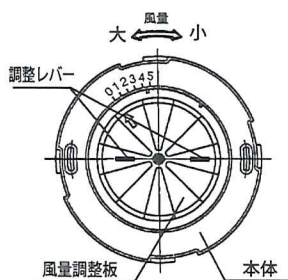
2.天井又は壁、床に貫通穴φ120を設ける。



3.ダクトを穴に通してパネルを外した本体をダクトに挿入しアルミテープで確実に巻いて固定する。



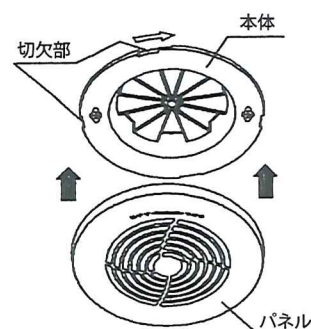
4.本体をねじ2本で確実に固定する。
(天井材にねじ固定できない場合は補強材を天井裏に張り付けてねじで固定してください。)



◆風量調整目安

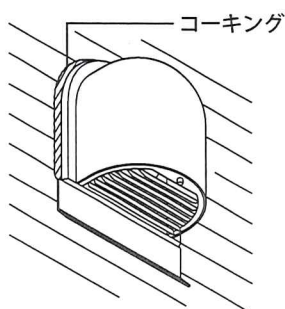
0	1	2	3	4	5
100%	90%	70%	50%	30%	閉

6.パネル裏面のつめ4ヵ所を本体の切欠部に合わせて入れて右【つける】に最後まで回して、パネルを確実に取り付けます。



5.パイプフードの取付 別売品

- ダクトパイプの外壁面に準備したパイプフードを取付けて回りをコーキング剤にてコーキングします。



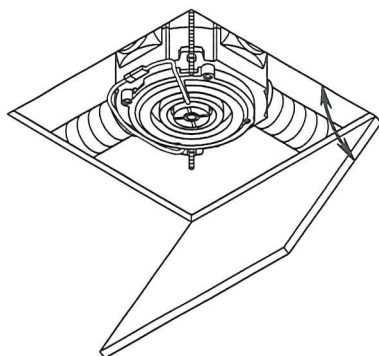
⚠ 注意

- 屋外パイプフードは強制排気用（網なし）をご使用下さい。
- パイプフードと壁面の隙間及び全周にコーキング剤を施す。
- ⚠ 不完全な場合は、壁内・室内に浸水し、壁面を汚す原因になります。

※コーキング剤は、現場でご用意ください。

市販品

■点検口を本体の真下（床下設置は真上）に設置してください。



別売品

- 施工前にパイプフード・ダクトパイプφ100(SU管)を準備してください。
- 外壁・内壁工事が終了した段階で施工してください。
- 壁面に角型自然給気レジスターを取り付ける。
- 通常は開閉レバーを最後まで上に動かし、【開】の状態にてご使用ください。

■外壁・内壁工事が終了した段階で施工してください。

■壁面に角型自然給気レジスターを取り付ける。

■通常は開閉レバーを最後まで上に動かし、【開】の状態にてご使用ください。

- 1.空気の流れを考えて取り付け場所を決める。

- 2.壁に貫通穴φ110を設ける。
(屋外へ下向きに1°-3°の傾斜を設けてください)

※ダクトに断熱材を巻く場合には、断熱材の厚みを考慮して穴を開けて下さい。

- 3.壁厚にあわせて、準備したダクトパイプφ100を切断します。

- 4.壁にダクトパイプを埋め込み、
パネルを外した本体を挿入し、
ねじ(4本)で固定します。

5. パネルのフック部を本体の引っ掛け部に確実に取付ける。

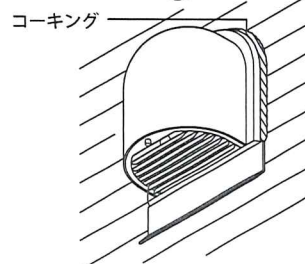
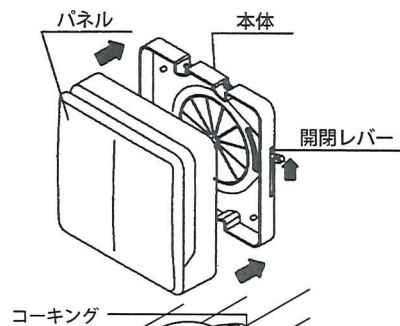
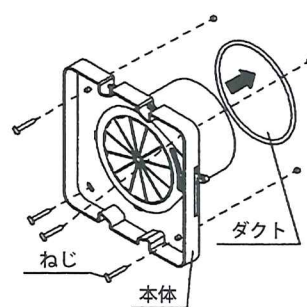
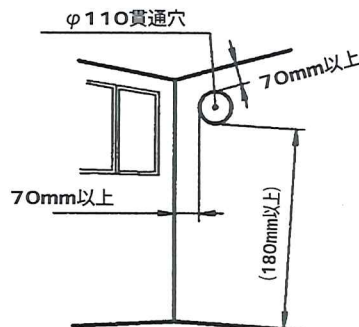
- 6.開閉レバーを上側に最後まで上げて【開】の状態にする。

- 7.ダクトパイプの外壁面に準備したパイプフードを取付けて回りをコーキング材にてコーキングします。

※パイプフードと壁面の隙間及び全周にコーキング剤を施す。

! 不完全な場合は、壁内・室内に浸水し、壁面を汚す原因になります。

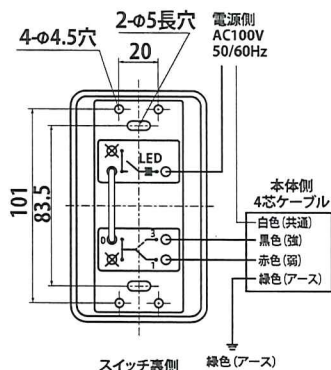
※コーキング剤は、現場でご用意ください。



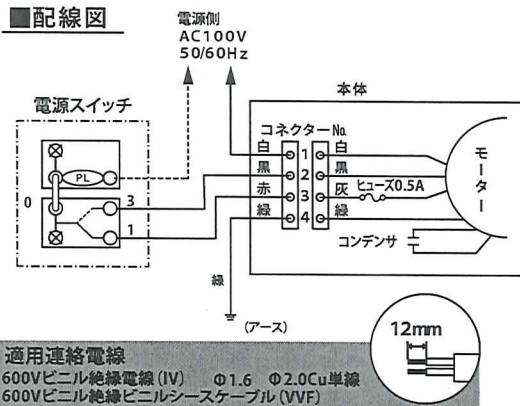
8. 強弱切替スイッチの取付・配線工事 別売品

- 配線図に従って正しく結線する。配線を誤りますとモーターが加熱し故障の原因となります。
- 本体と強弱切替スイッチの配線工事をおこない試運転（別紙の取扱説明書参照）をする。

■配線図



■配線図

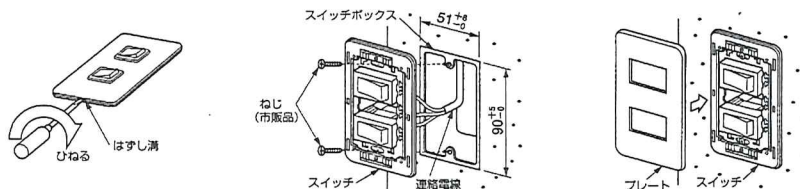


■施工方法

スイッチボックスを使用する場合

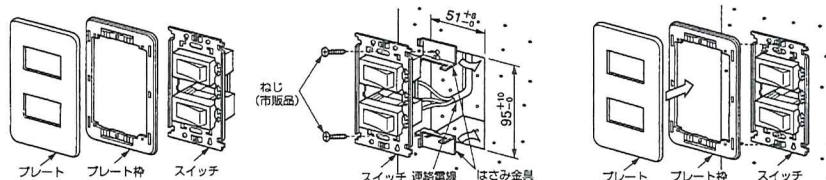
※事前にスイッチボックスを設置しておいて下さい

1. マイナスドライバーなどを使用してプレートを外します。プレート表面に傷をつけないように気を付けてください。
2. 配線図の通りに配線して、ねじ(2コ)でスイッチボックスに取付けます。
3. プレートをはめ込みます。プレートの上下を間違えないように確認して下さい。



スイッチボックスを使用しない場合

1. スwitchボックスを使用する場合と同様にしてプレートははずし、ねじをゆるめてプレート枠を外します。プレート表面に傷をつけないよう気を付けます。
2. 配線図の通りに配線して、はさみ金具(松下電工製)を使用して壁に取付けます。
3. プレート枠、プレートの順に取り付けて下さい。プレート、プレート枠の上下を間違えないように確認して下さい。



ご注意

- 本品は定格4Aですので、それ以内の容量でご使用下さい。
- 配線終了後、電源を入れる前に、配線が間違っていないか再度確認して下さい。
- 電源スイッチ(ランプ付)の負荷が10W未満の場合は赤ランプが点灯しませんのでご使用にならないで下さい。
- 1台のスイッチで2台以上の換気扇を並列運転するとモーターが故障しますので、1台のスイッチで1台の換気扇をを配線して下さい。

9. 試運転

- 配線や取付に異常がないか確かめて、別紙の取扱説明書を参照して試運転を行ってください。
- 部屋の広さに合わせて風量計算をし、各部屋の風量調整を吸込レジスターで行ってください。

◆風量調整目安

0	1	2	3	4	5
100%	90%	70%	50%	30%	閉

